

平成 18 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 東 和 銀 行
代 表 者 名 取締役頭取 増 田 熙 男
(コト`番号 8558 東証第一部)
問 合 せ 先 財務経理部長 田村盛司
TEL (027) 234 - 1111

平成 18 年 3 月期業績予想の修正並びに
同期末の有価証券評価損に関するお知らせ

1 . 業績予想の修正

中間決算発表時(平成 17 年 11 月 25 日)に公表した業績予想を以下のとおり修正いたします。

(1) 平成 18 年 3 月期業績予想の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	39,500	4,950	2,150
今回修正予想 (B)	40,082	6,079	2,453
増減額 (B - A)	582	1,129	303
増減率	1.5	22.8	14.1
前期実績 (平成 17 年 3 月期)	40,112	3,661	2,481

(2) 平成 18 年 3 月期連結業績予想の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	45,500	5,450	2,050
今回修正予想 (B)	45,945	7,454	2,710
増減額 (B - A)	445	2,004	660
増減率	1.0	36.8	32.2
前期実績 (平成 17 年 3 月期)	46,272	3,687	2,329

(3) 業績予想修正の理由

不良債権処理が予想を下回ったことや有価証券売却益が増加したこと及び経費の減少などにより、経常利益・当期純利益が予想を上回る見込みとなりました。

2. 平成 18 年 3 月期末の有価証券評価損

当行では、「その他有価証券」について、金融商品の時価会計基準により、簿価に比べ時価あるいは実質価額が著しく低下した銘柄につき減損処理を行っております。

このたび、平成 18 年 3 月期末における有価証券評価損(減損処理額)を算出しました結果、次のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

平成 18 年 3 月期末の有価証券評価損の総額	(A)	960 百万円
平成 17 年 3 月期の純資産額	(B)	63,805 百万円
(A / B) × 100		1.5%
平成 17 年 3 月期の経常利益額	(C)	3,661 百万円
(A / C) × 100		26.2%
平成 17 年 3 月期の当期純利益額	(D)	2,481 百万円
(A / D) × 100		38.6%

(ご参考)

1. 当行の決算期末は、3 月 31 日であります。
2. 減損処理基準の概要は次のとおりです。

期末の時価が簿価に比べて 50% 以上下落した銘柄は全て減損処理

期末の時価が簿価に比べて 30% 以上 50% 未満下落した銘柄は回復可能性なしと判断したものを減損処理

以上